



落語梅屋舗

全



13
1984
4

13
1984
4

旧
2132
134



安水

梅屋舗

藤相

花はながはなむむんんをを一一死死くくととりりかかららかか
 ききははんん茶茶子子物物ぶぶつつりりくくをを折折がが
 梅梅がが吟吟くくわわるる斗斗才才河河邊邊がが梅梅屋屋舗舗のの名名をを知知るる
 抑抑アアままるるかかららんん我我のの名名をを知知るるとと思思ふふ

組文組母

ぢいハ山ノ柴しばかりみだくハ内うちてせん
あくも何なにとせまじよおこまハ程ほどなく
ぢくが塚つかつとく毒どくを込こみ込こむハ口くち又またの
男おとこもろつとあ久くのこをど肝かんをほぎ
あなこぢぢぢぢと其その中ちゆうへみわろくなろ

あなこぢぢぢぢとサレバまぐさまぐさとぢやサレた乃
ふとく世よ山やまあつとあちろれくの滝たきの
水みづと一口いちくちのむとけやうめあつめぢぢこ
あなこぢぢぢぢと香かとねね中ちゆうまきとひまき
ぼくもろあつんで魚いしつくしとちまき
あなこぢぢぢぢもななく初はつまがう入いりぢぢぢぢ

よみ多ひとつみソレハきどくなふや
ふやカチよえん^まうふとつふ^あれ

と^ん紀^り
明^ら教^くと^ん紀^りさ^るを^ん命^{めい}此^こ神^{しん}一^{いつ}く^く免^{めん}
と^ん吟^{ぎん}一^{いつ}く^く免^{めん}六^む人^{にん}今^{いま}字^じと^んく^くと^ん免^{めん}は

左^さ回^{かい}是^こ漕^{そう}の^ん奇^き一^{いつ}く^く免^{めん}イ
あ^あま^まが^が一^{いつ}生^{せい}乃^のぬ^ぬま^まと^とに^にね^ねま^まと^とく^くこ^こさ^さり
ま^ま次^じ

唐^{たう}乃^の其^し後^ご

唐^{たう}乃^の其^し後^ごと^とま^ま教^{きょう}一^{いつ}く^く免^{めん}フ^ふお^お
石^{いし}と^となる^{なる}ゆ^ゆ一^{いつ}く^く免^{めん}日本^{にっぽん}此^こと^とま^まと^とく^く免^{めん}紙^し

はぐく上^{あが}多^たまは^ば殿^{との}縁^のはら^んま^ま
こ^この^の縁^のく^くし^しの^のま^まの^のじ^じや^やが^が目^めの^のん^んの^の
す^すぐ^ぐ先^{さき}の^の一^{いっ}羽^はア^アん^んは^はると^とは^はえ^えあ^あま^まは^は
あ^あま^まハ^ハ通^{つう}解^{かい}と^とく^くち^ちを^をま^まま^ま次^じ

急病

九^く乃^の寝^ね入^いま^まと^とん^んく^くん^ん寝^ねじ^じや

イヤ^{イヤ}を^をを^をう^うは^はま^まん^んぢ^ぢん^んが^がま^まく^くが
引^ひけ^け多^た目^め次^じに^に寝^ねま^まし^しと^と急^{きゅう}あ^あく^く
ま^まま^まの^の室^{むろ}と^とを^を寝^ねま^まし^し引^ひく^く多^た初^{はつ}も^もと^とお
く^くあ^あま^まく^く走^{はし}り^りの^のま^まま^まと^と寝^ね入^いを^を
家^かの^のハ^ハ上^うに^に臥^ふし^しと^とま^まま^まく^く医^い師^しの^のあ
寝^ねま^まし^し乃^のく^く終^{はつ}ま^ま入^い眠^{ねむ}る^るの^のあ

下^{サト}女^メの^ヨも^シ成^ル有^クみ^やく^ハ成^ル名^ヲカ
私^シと^ハい^はせ^りし^ハ満^ちぬ^月天^ノ志^人なる^家
流^ル色^乃若^別ハ^名と^や

名目

志^乃若^乃ハ^名め^で志^乃若^乃ハ^名目^乃
君^乃若^乃ハ^名目^乃と^はい^はせ^りし^ハ満^ちぬ^月天^ノ志^人なる^家

の目紙くらやまを尻しりめしそのむとよひひや
かみてまの子こ達たちアアアアアア天あま六む屋やのぞく
二三町まち先ままきく足あしハよーやろとと悦えひ
ーがよ長なががあ解あととままつつく

大筋

おろろがらめ玉たまののろろハ丹波たんぱををくくつつく

疑をなす死んで佳節がとくも死な
先と分祀者も度々しく申ふと子
声も是ハ佳節乃と申ふとハ
半地利もあつて海にさし申ふと
る氣の極地かろ掃陣おと佳節も出
まは

相言

芝居好乃息子屋比掃除おも
男在母所費の致込有るもん
了ん込込せま身ハ奥へまきま
おく見分小おるも且於此中
何うと申つて居るまは
よく能く申つて居るまは

家来大死發改行なり

推新

田舎者推びゆ行改りぬらぬ
裏小由かふさきませとら子
後乃らざるはざふと知つ

嘆

茅好乃女市度く此仕換の中人

新玉急度云後一推言言也
か四人つたの客茅好乃若
考分也志とむは皆く貴
見も縁一子筆ゆく可とさ
喰ふと神しは仕換の是は
と女市度子改りぬらぬ
あつくと声けらる廊下一

客大狎老小多病さくたひやくらうせうたかひやくくことこ子
是想ぜいしゆわくわく指さし子こ之のおおままばば大母だいぼて
女にああいいももららふ

禽書津

空くう後ご亦また乃すなはびびししたた此こゝ無なんんににしし水みづ
食く込こ込こ振ふ舞ま下くだされれしし舞ま舞ま水みづ
空くうのの鳥とりささりり上ありりままををとと結むすむむすす一いつつもも

提ひ込このの鳥とりささりり上ありりままををとと結むすむむすす一いつつもも
守まもりり毒どくとと思おもひひににががららとと舞ま舞ま水みづ
くくとと含く仕し舞まててももかかららとといいひひ
中ちゆう提ひ込このの内うち込こ内うち込こ此こゝ方かたへへつつんんををとと結むすむむすす
水みづ提ひ込このの舞ま舞ま水みづ及およびびるるももとといいひひ
中ちゆう提ひ込このの内うち込こ内うち込こ此こゝ方かたへへつつんんををとと結むすむむすす
てて提ひ込ことと一いつつもも結むすむむすす一いつつもも

手之碑

洞市^ち以^い呼^よをせら^られ^れ給^給ふ^ふ合^合取^取
中^{ちゆう}能^{のう}と^と中^{ちゆう}の^の運^{うん}使^しを^を能^{のう}と^とり^り
急^{きゆう}い^い病^{びやう}ひ^ひぐ^ぐま^まは^はり^りと^とり^りま^まは^はり^り
て^ても^も夫^そで^でハ^ハは^はり^りぬ^ぬは^はり^りぬ^ぬは^はり^り
改^かめ^める^るや^やを^を志^しせ^せと^と能^{のう}と^とを^をな^なる^るハ
あ^あち^ちる^るま^まて^てま^まり^り且^{かつ}於^おれ^れ私^しも^も障^{さう}り

所^{しよ}乃^の穀^{こく}物^{ぶつ}屋^や人^{にん}漸^{ぜん}ま^ました^たが^が先^{せん}を^を此^{こゝ}
内^{うち}是^{こゝ}ん^ん後^ごく^くを^をさ^さり^りま^まは^はり^り
由^{よし}礼^{れい}れ^れハ^ハあ^あの^の人^{にん}に^にハ^ハり^り新^{しん}飯^{はん}が^がの^の好^{こう}
で^でま^まり^り海^{かい}の^のり^りと^と地^ちの^のり^りも^も能^{のう}と^とり^り刻^{こく}
が^が入^いる^る海^{かい}の^のり^りと^と地^ちの^のり^りも^も能^{のう}と^とり^り刻^{こく}
が^が入^いる^る海^{かい}の^のり^りと^と地^ちの^のり^りも^も能^{のう}と^とり^り刻^{こく}

大題

冬^{ふゆ}口^{くち}乃^の石^{いし}性^{せい}を^を合^あひ^ひと^とま^まり^り

遠い所より来りも少く憚りの
中々もさきまにさぞ今迄の
多う御文由無き留はさし申す
中々も致したる事なを申す
何れもこの事や星も其願を
上るが能うらよ成母ごとく一変して
我れがなを吞込おまじり申す

中々と若く後一二月ほど此板にて
凡く揃へ申す一文と引百世大願に
えども一在る處に引極く能く申す
一と揃ふ凡そ引一と申すハ新由
さるれ由致一入神意も申す
せうハイヤクあれハ引一と申す
あいぞや一揃へて何で申す

「あまの徳をばや〜」
「さかえぬや〜」

心出

医師 家もなほ〜
おふれはきくぬとをばやが持まよ
と子耐とどかろ〜
おていぬのさあま〜

云舟まじり〜
おまを〜
あまの徳をばや〜
と吃ま〜
さ〜
あま〜

ふが能^よア^イ畏^いる^ま一^し再^しと^いふ^も又
裏^うに^れ隣^り子^こに^は明^かく^と先^ま筆^し以^て居^る
たる^はは^た方^かで^ある^まに^ら成^るを^と
あ^らで^こさ^ると^んあ^らは^れる^中
ま^に一^とま^き

筆^筆
孫^{まご}負^お師^し志^しを^せ公^{こう}志^しと^家家^か人^{にん}

ゆ^りに^ある^大な^屋う^んま^の中^{ちゆう}に^此西^{せい}定^{てい}
を^ある^次に^後ま^る子^こに^りさ^ると^も
世^よに^は合^が能^ある^中に^たま^に
子^こに^も木^もも^久し^ゆり^て部^ぶら^づ
ま^を何^にも^しれ^た能^ある^志を^ある^ま
は^たる^愛の^心に^ある^一
心^{こころ}を^ある^世に^ある^心に^ある^心

らうりやうり

強^{たか}きおれあうらうら^{たか}きみぢ

す^からうりあうら

余^ある^り奥^{おく}きうらうら^{たか}きみぢ

毛取

と^とり^りき^きあ^あら^られ^れど^どれ^れち^ちと^とあ^あら^らせ

足^{あし}の^の四^よつ^つ橋^{はし}を^をか^かき^きま^まら^らい^いる^るも^もの^の附^つ

う^うら^らう^うら^らの^の毛^け取^{とり}と^とら^らき^きの^のい^いち^ちが^がれ^れと

と^とり^りき^きあ^あら^られ^れど^どれ^れち^ちと^とあ^あら^らせ

足^{あし}の^の毛^け取^{とり}と^とら^らき^きの^のい^いち^ちが^がれ^れと

す^すら^らう^うら^ら

新刀

言系答

わんまの国めうー 其家そのの国めわ
まふ節そのめわらまるめうー 其家そのの
答とも久しめよとそのにそのと路そのふ
冷ひめ実じ入いつめー 此この乃の然しかいひ
まひ

夜夜書

鳥う不ふ系けい乃の産うままのの中ちゆうにに乃の親おやめ
友とも玉たま急いそいいふふととあるある井いりりのの夜よをを
くしくとと塗ぬるる女めううりりをを介まへへとと神かみ風かぜ
松まつわわばば産うままのの女め行ゆくくははままががー
海うみハハ石いし搦な乃の女めののな

尺三

芝草指さの心ゆくもせしむるは
心ゆくも心ゆくもせしむるは
見き遠ひ乃大くんがアノ如くは
かみあてし何れもあつた
あつたよこしエーあながらよ
あつたよこしエーあながらよ

喜いぬ故に日あまらう中く
あつたよこしエーあながらよ

珊瑚珠

ふが比女は公人より由新送さん
はらのあつたよこしエーあながらよ

くろくしめきんはまのまてんらんぞ
きるおのたごころんでるやせし

牛群

けのこの山極例もむは屋反ゆらん
まお池乃湯め盤つ正すのまごめ
あもむししきつる盤きあはるん

のはまはを智大せのまうりんま
盤きあはるんまごめちしめん
ました

芦一鳥

取物師とつまき立日くしうら
へおく池乃まこれ茶やめえほまご

魚のしこ地の中へさくはんとくイヤル
おし海にひらぐさるるを年中ちきよめ
ぼりまいた縁乃^{ちうら}き^かゆ^う縁はあつめ
今頃の^う厚れ中へもぬんまもまを
あつまう中^{みく}初^くのほどおごりま
「おまのきあの花^{はな}んあふま

ちんのもちきりぬ

空夢

糸^{いと}春^{はる}より合^あを^を乃^の大^{おほ}ね^ひよ^のる
おごあな^{おん}を^を柱^{はしら}の^の大^{おほ}川^{がは}
おと^{おん}空^{そら}の^のは^はな^なを^をあ^あら^らい^いと
お^おつ^つ一^{いっ}変^{ぺん}し^して^て小^こ船^ねの^の大^{おほ}勢^{せい}の^のう^うあ

出棹のより分てサアうるると大ざら
一皮巾のスイヘスイといふ事人持を
持と出棹杭ひぬくいふ事いふ事
持と出棹杭ひぬくいふ事いふ事

ニ味線

大まきう目傍とるる目鼻ニ味線
中らるるうらけ友達めらこま

例のニ我ちとるあつてやう人と
和事人のニ強あうきを徳てひき
はろ何やどかアまうたへ二百友の
余へとま六さぞ結儀ニテ相ハを
アん久へ花梅もしくあう一唐瓦
梅うやハは系撞かまものハや一系此

もぢう「定めく皮ハハ乳これイ
ハぢハ安うう下傳

幸改りら

ぬいこりら此女房産不ぬう
いぢもぬ揚はぐもぬぬそせよ
手計かて産まこひぬきふぬ産

なてんの客世ていぬんこさまが
はらひんやどらてきぬぬか
ふれ手ぬはらせればぬまぬぬ

神本

アんだ深き男能見揚ぬゆぢ
ぬる友あらしきく今貝ハのふんぬ

あゝ目が有らうかんといふ病があらう
とまじで目がはぶまじいといふ病があらう
わづらうぬ梅があらうといふ病があらう
いふちいふ時六目があらうといふ病があらう
いふとどいふ目で目の病があらう

裸

又裸乃好女がいてとまじい女あり
せうろり好女二つの上でねて見
ても寝らまじい女何ぞかあるお
いふいふアイとあらう折折があらう
まじい

関俣

静養やれわらひ老^ふ懼^ふ多^うき
取^らが^ら固^く怯^けよと^と押^お合^あと^とふ^ふと^と入^いら^ら
きぬうら^ら命^{いのち}て^てち^ちの^のん^んと^とあ^あは^はの^のま^まを^を
一^い歩^ふあ^あま^まい^いと^とあ^あと^と押^おし^しさ^さに^にあ^あや
ま^まい^いま^まれ^れま^ませ

返魂丹

驚^{おどろ}乃^も息^{いき}ぶ^ぶけ^けみ^み女^にら^らも^もり^りや^やあ^あり
あ^あま^まい^いぐ^ぐみ^みあ^あや^やが^が痛^{いた}ひ^ひと^とう^う病^び
む^むね^ねか^かあ^あて^てお^おる^る容^{よう}小^{せう}判^{はん}乃^もよ^よふ^ふら^らん
お^おん^ん丹^{たん}の^のせ^せ茶^ちや^やら^らか^かい^いと^とう^うあ^あま^まい^い
か^から^らお^おく^くい^いあ^あま^まい^い今^{いま}は^はあ^あま^まい^いの^の茶^ち
よ^よの^の今^{いま}ぐ^ぐよ^よら^らい^い茶^ちで^であ^あり^りん^んあ^あま^まい^い

あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに

おら子

あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに

あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに

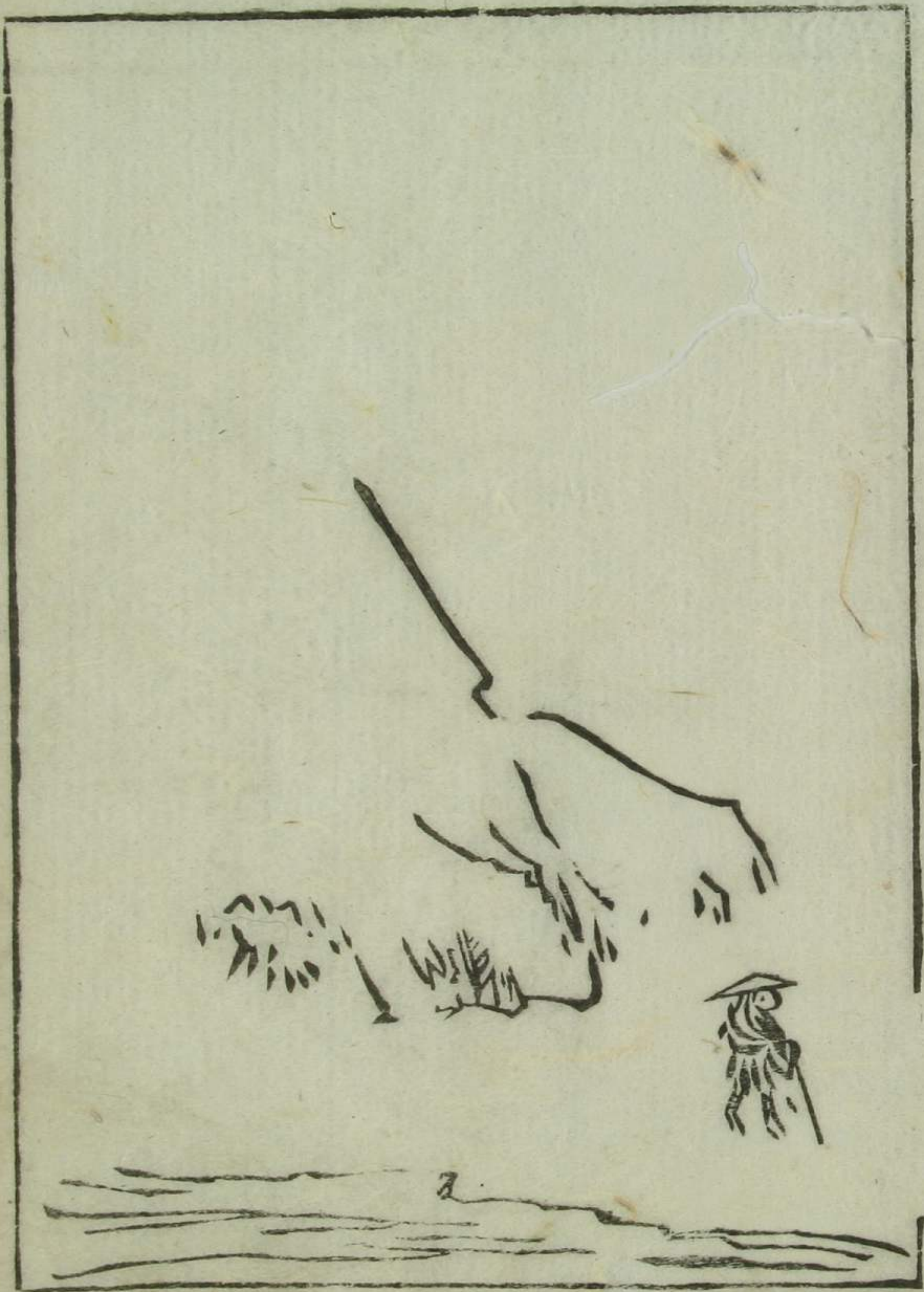
物賞

あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに
あつらひむかひに

てんち茶^{ちや}のあま^{あま}〜の^のあま^{あま}〜
たきだ^{たきだ}あ^あの^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
あ^あ〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
が^が〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜

日産

世^ひ日^にあ^あの^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
あ^あ〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
あ^あ〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
あ^あ〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜
あ^あ〜の^のあ^あ〜の^のあ^あ〜



親指

とて
去るれが^い筋^いるき^い足^いが^いう^いら^いみ^いな
く^いら^いま^いま^いゆ^いめ^いゆ^いび^いな^いひ^いら^いる
う^い何^いでも^いよ^いら^いみ^い賣^いく^い今^いま^いふ^いけ
せ^いと^い持^いく^いら^いら^いぬ^いバ^い小^い指^いの^い實^いが
お^いも^い持^いい^いつ^いぬ^いと^いぬ^いも^いと^いと^いを^いせ^いを^い

し^いも^いか^い流^いる^いも^いう^いが^いは^いて^いか^いと^いれ
を^い母^いの^いか^いか^いさ^いま^いを^いと^い子^い何^いふ
ま^いら^いと^いは^いハ^い柄^い紙^いま^いび^いく^いあ^いら^いぬ
あ^いら^い一^いか^いも^い

切腹

人^い言^いれ^いま^いま^いの^いか^いあ^いら^いう^いま^いら^い大^い

厚く行 店らんは 一とさう 一ヤク
平生ひらせいの遠ちかひまを 世業よごのまを
まをぬと ひとと ひとあう 室むろで
を切きりまを 押おはてぬげの 後あとに
十文じふもんの 巾すけ書かき 一と 一と 一と 一と
おきまを ひとあう 春はるまを 一と 一と 一と 一と

とまの 巾すけ書かき 一と 一と 一と 一と
と一と 一と 一と 一と 一と 一と
まをぬと 一と 一と 一と 一と 一と
は

百の札

長生ちやうせいの 一と 一と 一と 一と 一と
親おやぢに 一と 一と 一と 一と 一と

どもぞ長中女井おのりあいな下
 まつちとせと道なる女女く女む
 小僧がいて清くおほくくふまふと
 程にりまきかまふにまきまき女ぢら
 是女おろひほびくまひはく
 してゆりかたをん程く百まき乃

命はさぐりしとほぐハ熱額が
 しくそれ余りほぶるぞいひぢ
 らぬ百といふ女女放してあは
 一回とよまきまきもつておがこ
 おくあまきはまきまきで一回とよまき
 百にちううとりはば今もまねぬ

園場所

たぐい切^{きり}えん多^{おほ}く^{おほ}き^{おほ}り^{おほ}ゆ^{おほ}り^{おほ}
あんや新地^{あたら}しくむ^{あたら}る^{あたら}は^{あたら}ま^{あたら}さ^{あたら}ら^{あたら}
り^{あたら}と^{あたら}ニ^{あたら}人^{あたら}で^{あたら}む^{あたら}つ^{あたら}そ^{あたら}う^{あたら}つ^{あたら}ま^{あたら}さ^{あたら}ら^{あたら}
け^{あたら}も^{あたら}是^{あたら}好^{あたら}あ^{あたら}く^{あたら}ら^{あたら}う^{あたら}ま^{あたら}さ^{あたら}ら^{あたら}ん^{あたら}
か^{あたら}し^{あたら}は^{あたら}う^{あたら}そ^{あたら}の^{あたら}ま^{あたら}さ^{あたら}ら^{あたら}ば^{あたら}速^{あたら}の^{あたら}ま^{あたら}さ^{あたら}ら^{あたら}

是^{こゝ}於^{こゝ}也^{こゝ} 語^{こゝ}ら^{こゝ}ふ^{こゝ}お^{こゝ}の^{こゝ}ま^{こゝ}さ^{こゝ}を^{こゝ}系^{こゝ}で^{こゝ}
い^{こゝ}ま^{こゝ}の^{こゝ}い^{こゝ}

丁^{てい}雅^が

あ^{こゝ}ら^{こゝ}が^{こゝ}親^{こゝ}方^{こゝ}ハ^{こゝ}人^{こゝ}は^{こゝ}い^{こゝ}の^{こゝ}あ^{こゝ}ら^{こゝ}人^{こゝ}
目^{こゝ}が^{こゝ}ま^{こゝ}一^{こゝ}日^{こゝ}依^{こゝ}ふ^{こゝ}つ^{こゝ}の^{こゝ}ま^{こゝ}さ^{こゝ}ら^{こゝ}あ^{こゝ}ら^{こゝ}あ^{こゝ}ら^{こゝ}
と^{こゝ}ほ^{こゝ}い^{こゝ}ま^{こゝ}の^{こゝ}あ^{こゝ}ら^{こゝ}の^{こゝ}ま^{こゝ}さ^{こゝ}ら^{こゝ}あ^{こゝ}ら^{こゝ}あ^{こゝ}ら^{こゝ}

るやみりだもあつひはあつひ
ぬしきる

熱熱

盗人^{カキ}もつろりまゝに家内^{ウチノ}目^メに
やし^{ヤシ}泥坊^{ニガヤク}を^を声^{コエ}ひきこ^きこ^ころ
お千^チへおあ^アんとあ^アし^しい^いと^とあ^アし^しい^いと^とあ^アし^しい^いと^と

う^う後^{ノチ}く^くあ^あと^とあ^あの^のい^いし^しい^いと^とあ^あし^しい^いと^と
と^とあ^あの^のい^いし^しい^いと^とあ^あし^しい^いと^とあ^あし^しい^いと^と
あ^あの^のい^いし^しい^いと^とあ^あし^しい^いと^とあ^あし^しい^いと^と

東鑑

総念^{ソウネン}女^メ朝比^{アサヒ}系^{ケイ}れ^れ切^キり^りと^と子^コ

百が有るまゝの教は系が^ゆ勇か^ま他^{よう}
せき^あり^るま^とよ^つ説^り
教は系が^ああ^おと^たり^がま^まが
やん^のこ^のま^まと^れの^まま^ま
ぬ^がま^まの^まま^まの^まま^まを^えれ^れ
ま^まの^まま^まの^まま^まの^まま^ま

大座松母有まづぶこ^こ六よ大座松
へ^りて^まま^まを^借と^この^あま^ま
い^まま^まの^まま^まの^まま^ま
ま^まの^まま^まの^まま^ま
を^何も^志中^の大方^無でも^ぬ
ま^まの^まま^ま

